

第 28 回

バゾプレシン研究会

プログラム・抄録集

日時： 2018 年 1 月 6 日（土） 13:00～17:45

会場： 慶應義塾大学病院 2 号館 11 階大会議室

〒160-8582

東京都新宿区信濃町 35

TEL: 03-3353-1211（代表）

当番世話人： 有馬 寛（名古屋大学大学院医学系研究科糖尿病・内分泌内科学）

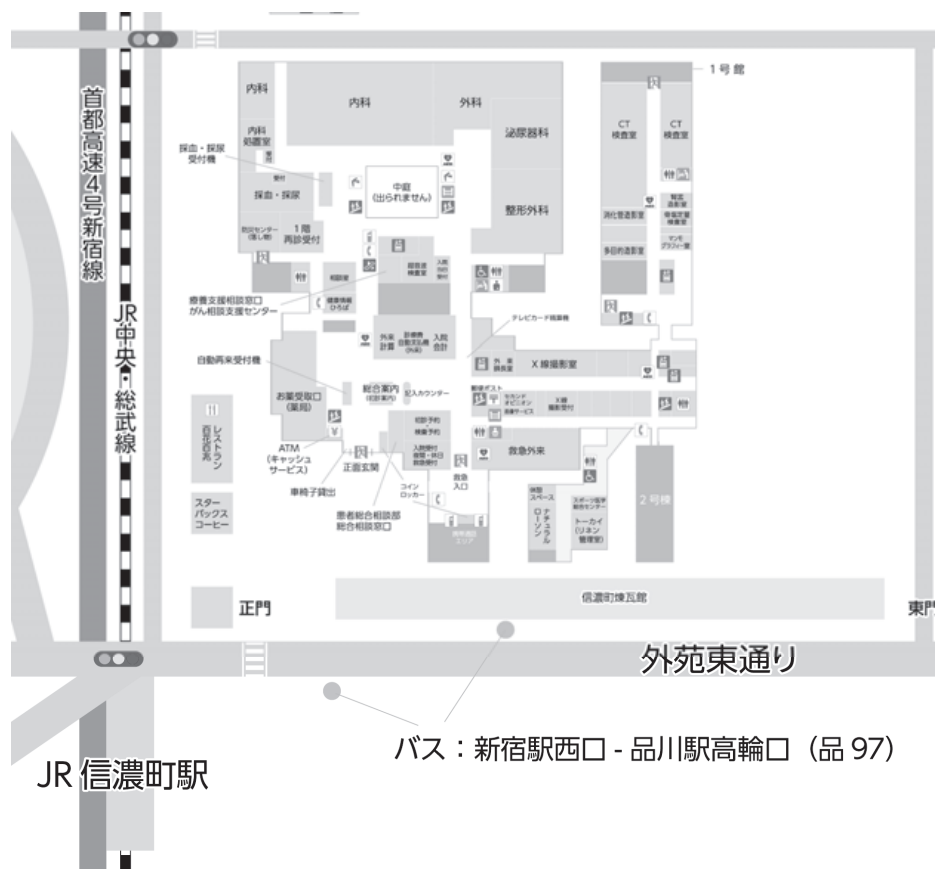
事務局：名古屋大学大学院医学系研究科 糖尿病・内分泌内科学 有馬 寛

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

e-mail：AVP28@med.nagoya-u.ac.jp

URL：www.avp.gr.jp

会場アクセス



【JR、地下鉄】

中央・総武線「信濃町」駅下車、徒歩約 1 分

都営大江戸線「国立競技場」駅下車 (A1 番出口)、徒歩約 5 分

丸の内線「四谷三丁目」駅下車 (1 番出口)、徒歩約 15 分

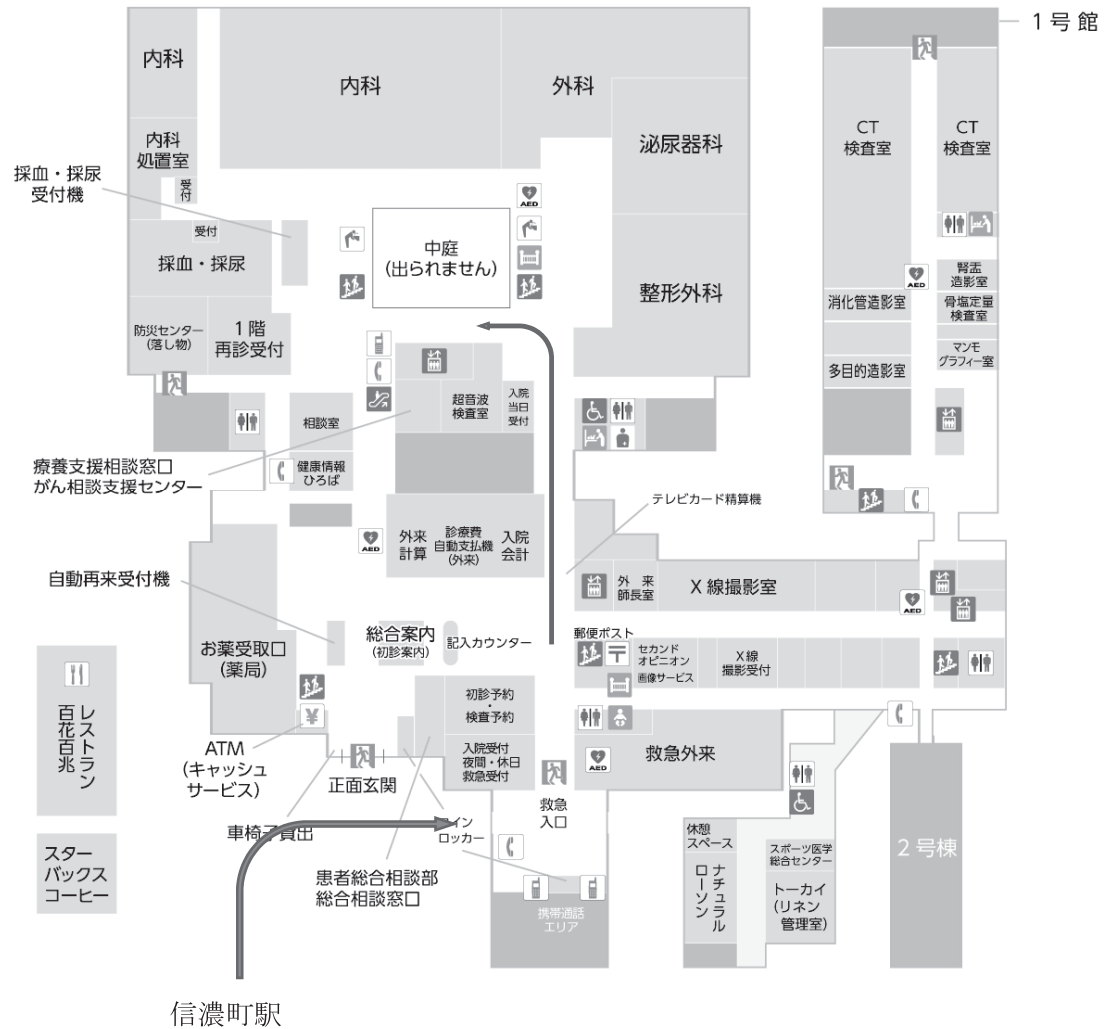
半蔵門線・銀座線「青山一丁目」駅下車 (0 番出口)、徒歩約 15 分

【バス】

新宿駅西口-品川駅高輪口 (品 97)「信濃町駅前 (慶應病院前)」下車

早大正門-渋谷駅東口 (早 81)「四谷第六小学校入口」下車

慶應義塾大学病院構内図



研究会当日は、慶應義塾大学病院休診日となりますので、正面玄関横の救急入り口からのみ入ることができます。会場の2号館大会議室は、構内図の中庭向かいにあるエレベーター（11階へは向かって右側3列の一般用のみが参ります）をお使い下さい。

第 28 回 バゾプレシン研究会

プログラム

日 程：平成 30 年 1 月 6 日（土）

[1]	開会の辞	13:00～13:05	当番世話人	有馬 寛
[2]	一般演題－I	13:05～14:05	座 長	岩崎泰正
[3]	ミニレクチャー	14:05～14:35	司 会	林 松彦
[4]	休 憩 (コーヒースタイル)	14:35～15:00		
[5]	一般演題－II	15:00～15:45	座 長	上田陽一
[6]	一般演題－III	15:45～16:30	座 長	内田信一
[7]	特別講演	16:30～17:30	司 会	有馬 寛
[8]	表彰式			

研究奨励賞の表彰 17:30～17:40

[9]	閉会の辞	17:40～17:45	当番世話人	有馬 寛
-----	------	-------------	-------	------

- *1. 一般演題は、口演時間 10 分、討論 5 分とします。
- *2. 発表は、全て PC プレゼンテーションのみとします。
- *3. 演者は、口演 30 分前に必ず受付にて PC 試写を行い、正しく動作するかをご確認下さい。ノート PC をお持込みの方も受付願います。
原則として、ファイルでの受け付けは Windows 版の PowerPoint とします。
- *4. 世話人会を 12:10 より開催致します。
(慶應義塾大学病院 2 号館 11 階 カンファレンスルーム)

第 28 回バゾプレシン研究会

当番世話人： 有馬 寛 (名古屋大学大学院医学系研究科糖尿病・内分泌内科学)

【バゾプレシン研究会世話人会】 ○代表世話人

世話人 : ○林 松彦 (慶應義塾大学医学部血液浄化・透析センター、総合診療教育センター)

有馬 寛 (名古屋大学大学院医学系研究科糖尿病・内分泌内科学)

岩崎泰正 (高知大学臨床医学部門保健管理センター)

上田陽一 (産業医科大学医学部第 1 生理学)

内田信一 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科腎臓内科)

興水崇鏡 (自治医科大学医学部・薬理学講座分子薬理学部門)

主 催: バゾプレシン研究会

プログラム

[1] 開会の辞 13:00～13:05 当番世話人 有馬 寛

[2] 一般演題-I 13:05～14:05 座長 岩崎泰正

演題 1 内因性バズプレッシンニューロンの活性化は摂食行動を抑制する

○吉村充弘、丸山 崇、上田陽一

産業医科大学 医学部 第1生理学

演題 2 家族歴のない成人多発性腎嚢胞患者における網羅的遺伝子解析を用いた遺伝子診断
と臨床所見の検討

○藤丸拓也¹⁾、森 崇寧¹⁾、関根章成²⁾、萬代新太郎¹⁾、千賀宗子¹⁾、菊池寛昭¹⁾、
安藤史顕¹⁾、森雄太郎¹⁾、野村尚弘¹⁾、飯盛聡一郎¹⁾、内藤省太郎¹⁾、
岡戸丈和¹⁾、頼 建光¹⁾、星野純一²⁾、乳原善文²⁾、蘇原映誠¹⁾、内田信一¹⁾

¹⁾東京医科歯科大学 腎臓内科

²⁾虎の門病院 腎センター内科

演題 3 マウス ES 細胞由来視床下部神経の同種移植

○長崎 弘¹⁾、小谷 侑¹⁾、須賀英隆²⁾、金子葉子¹⁾

¹⁾藤田保健衛生大学医学部生理学講座 I

²⁾名古屋大学大学院 糖尿病・内分泌学

演題 4 家族性中枢性尿崩症の疾患特異的 iPS 細胞を用いた小胞体ストレスの再現

○光本一樹¹⁾、須賀英隆¹⁾、加納麻弓子¹⁾、大曾根親文¹⁾、宮田 崇¹⁾、椋谷昌佳¹⁾、
萩原大輔¹⁾、佐藤慧太²⁾、坂本浩隆³⁾、有馬 寛¹⁾

¹⁾名古屋大学大学院医学系研究科 糖尿病・内分泌内科学

²⁾川崎医科大学 医学部 解剖学教室

³⁾岡山大学 大学院自然科学研究科 理学部附属臨海実験所

[3] ミニレクチャー 14:05～14:35 司会 林 松彦

共催：大塚製薬株式会社

常染色体優性多発性嚢胞腎（ADPKD）におけるトルバプタン治療反応性を尿中
アクアポリン2から考える

望月俊雄

東京女子医科大学 多発性嚢胞腎病態研究部門 特任教授

[4] 休 憩 14:35～15:00

[5] 一般演題－II 15:00～15:45 座長 上田陽一

演題 5 SIADH を疑う、高齢低 Na 血症の 3 例.

○百木忠久¹⁾、寺内 康夫²⁾

¹⁾済生会湘南平塚病院内科

²⁾横浜市立大学大学院 分子内分泌・糖尿病内科

演題 6 中枢神経系におけるオキシトシン投射線維とオキシトシン受容体の分布：新規の社会行動関連神経回路とその機能

○吉田匡秀、Naranbat Nasanbuyan、高柳友紀、犬束 歩、尾仲達史

自治医科大学生理学講座神経脳生理学部門

演題 7 痛みに関わる V1b バゾプレッシン受容体高次複合体の機能解析

○興水崇鏡、Nuttawadee Ngamlertwong、藤原葉子、土屋裕義、谷口淳一

自治医科大学分子薬理学部門

[6] 一般演題－III 15:45～16:30 座長 内田信一

演題 8 新規 V2 受容体のトラザメにおける発現と機能

井上夏紀¹⁾、海谷啓之²⁾、宮里幹也²⁾、○兵藤 晋¹⁾

¹⁾東京大学大気海洋研究所 生理学分野

²⁾国立循環器病研究センター研究所 生化学部

演題 9 腎機能の低下した多発性嚢胞腎（ADPKD）患者に対する、120mg までのトルバプタン投与における有効性および安全性の検討～2 施設での経験から～

○内山清貴¹⁾²⁾、林 松彦¹⁾、石橋由孝²⁾、長谷川一宏¹⁾、脇野 修¹⁾、伊藤 裕¹⁾

¹⁾慶應義塾大学医学部 内科学教室 腎臓内分泌代謝内科

²⁾日本赤十字社医療センター 腎臓内科

演題 10 57 歳で診断された先天性腎性尿崩症の一例

○尾崎信暁、吉藤真梨子、岡崎美香子、柳沼裕史、安田寛子、清田篤志

名古屋第一赤十字病院 内分泌内科

- [7] 特別講演 16:30～17:30 司会 有馬 寛
共催：ヤマサ醤油株式会社
オートファジーの分子機構と生理的意義
水島 昇
東京大学大学院医学系研究科 分子細胞生物学専攻 分子生物学分野 教授
- [8] 表彰式 17:30～17:40 研究奨励賞の表彰
- [9] 閉会の辞 17:40～17:45 当番世話人 有馬 寛